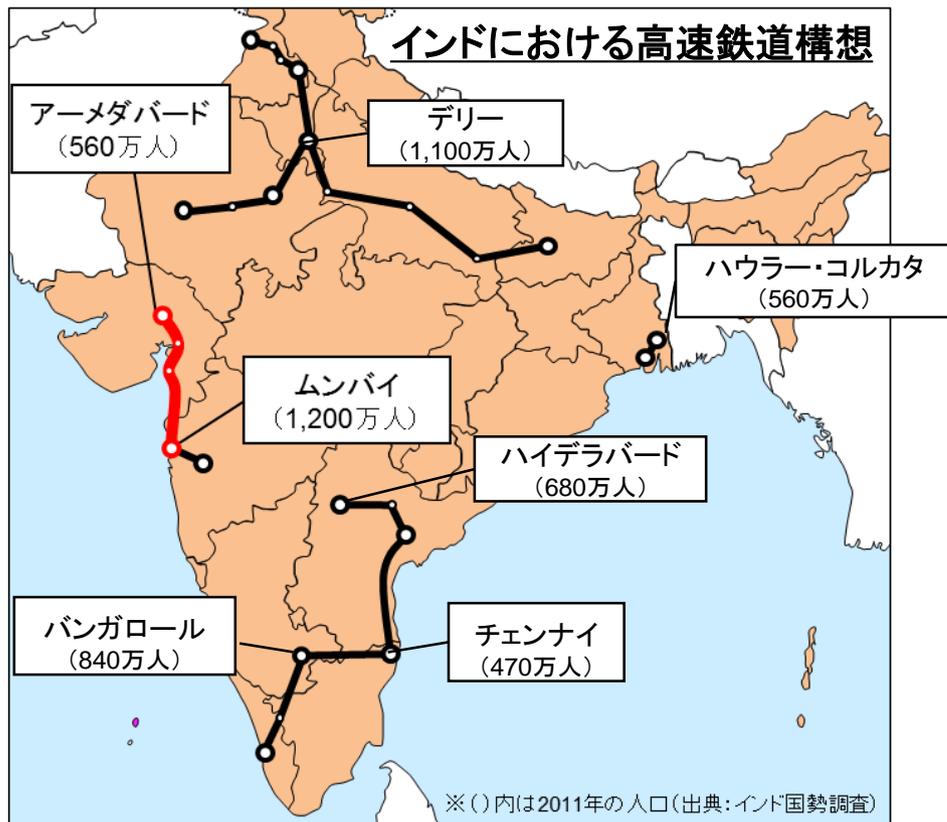


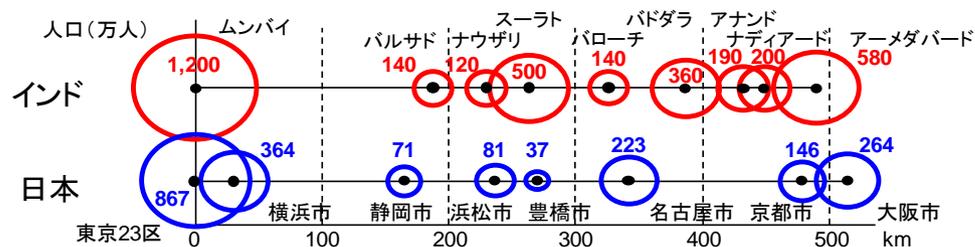
インドにおける高速鉄道構想



新幹線導入に向けた日本政府の動き

- 平成25年5月、日印首脳会談(インド)において、ムンバイ～アーメダバード路線について、日印共同調査を実施することで合意。
- 平成26年9月、日印首脳会談(東京)において、安倍総理より、新幹線システムの導入を前提に「資金面・技術面・運営面での支援」を提供する用意がある旨表明。
- 平成27年2月、北川国交副大臣が訪印し、デリーにて高速鉄道セミナーを開催。鉄道省シンハ閣外大臣と会談。
- 平成27年9月、プラブー鉄道大臣が太田国交大臣の招聘に応え来日。安倍総理、太田大臣などの要人と会談。新幹線関係の視察を実施。
- 平成27年10月、山本副大臣が訪印し、インド国際鉄道機器展示会(IREE)内で、日本鉄道セミナーを開催。プラブー鉄道大臣と会談。

【参考】ムンバイ～アーメダバード間と東京～新大阪間における沿線都市人口の比較



(出典) インド:「インド国高速鉄道導入可能性検討に係るF/S調査(JETRO)報告書(平成16年度)
日本:平成20年3月現在の推計人口

日印共同調査

- 日印首脳間の合意に基づき、平成25年12月より、ムンバイ～アーメダバード高速鉄道整備に関する日印共同調査を実施(平成27年6月終了)。
- 調査では、高速鉄道システムの技術仕様、建設計画(路線、駅位置等)、需要予測、概算事業費等を検討。

【調査結果概要】

専用軌道・標準軌 駅数:12駅 営業最高速度:320km/h
総事業費:9800億ルピー(約1兆8000億円)